

武雄警察署協議会開催結果の概要

令和6年3月14日

会 議	令和5年 第3回 武雄警察署協議会
開催日時	令和6年2月15日（木） 15：30 ～ 17：00
開催場所	武雄警察署 会議室
出席者	協 議 会：馬渡会長、中村副会長、古賀委員、富永委員、 麻生委員、草場委員（6人） 警 察 署：川副署長、百武副署長、西山警務課長、井手留 置管理課長、中嶋会計課長、藤川生活安全・刑 事課長、村山地域課長、原交通課長、馬場警備 課長、警務係長（10人） 計 16人
議 事 概 要	
1 開会 2 会長挨拶 まず始めに、元日に発生した石川県能登半島地震により被災された方々に対し、哀悼の意を示すとともに心よりお悔やみを申し上げる。 改めて、災害はいつどこで発生するか分からないということを目の当たりにして、日頃から災害に備えておくことの大切さを痛感したところである。 今年は、いよいよSAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催される。関連イベントも含め、多くの方が佐賀県を訪れることになるかと思う。当然、人が集まればそれだけ事件・事故の発生も増えることが予想される。武雄警察署には市民生活の平穏を確保するため、引き続き万全の備えをお願いする。 先週、警察署協議会代表者連絡会議に昨年に引き続き参加した。武雄警察署が諮問したニセ電話詐欺の対策、対応について、他の協議会も高い意識を持って取り組まれているのが分かった。明確な解決策があるわけではないが、地道な広報活動を続けていくことが必要である。 本年度最後の協議会となる。次回は新メンバーでの開催となる。今後の協議会の発展に向けて忌憚のない意見を出していただき、当協議会が武雄市の安全安心を構築していく一助となることを出来ればと考えているので、よろしくお願いします。 3 署長挨拶 能登半島地震で亡くなられた方の御冥福をお祈りするとともに、被災された方々に対しお見舞い申し上げ、一日も早い復興を願っている。 治安を守る者として、危機管理こそが最大の使命であると痛感したところである。 県内の治安情勢は、指標となる刑法犯の認知件数が増加しているほか、特殊詐欺事件の被害が昨年と比較して、件数・被害額ともに大幅に増加している。また、交通情勢については、人身交通事故の発生件数は、前年比で減少し、交通事故による死者数についても13人、前年比－10人と減少した。 一方、当署管内における治安情勢については、刑法犯の認知件数、人身事故の発生件数とも増加したが、人の生命にかかわるような重大な事件・事故や災害などの発生はなく、比較的平穏な1年であった。これもひとえに、関係機関、各種団体、そして地域住民の方々の協力があったからこそだと思っている。 今年10月には、第78回国民スポーツ大会・第23回全国障害者スポーツ大会	

の開催を控え、武雄市内においても武雄競輪場での自転車競技を始め、複数の競技が予定されている。警察としてもこれまでにない大規模警備が実施されることになり、武雄警察署においても、全署員を挙げての警備となる。今後も引き続き、関係機関・団体、そして市民の皆様とこれまで以上に連携を図っていききたい。

本協議会は、委員の皆様から地域の問題や話題など、警察運営に資する意見をお伺いできる貴重な機会である。忌憚のない御意見や御要望をいただきたい。

4 答申

前回、降雪による悪天候のため書面開催としたことから、改めて第1回協議会において諮問を受けた「すぐに信じちゃいかんばい！プロジェクトの効果的な推進方策」について、会長が、

- ・ 地道な啓発活動とチラシの配布
- ・ 積極的な声掛けによる水際対策の推進
- ・ 詐欺被害防止相談窓口の開設

の答申を行った。

5 協議

(1) 警察署協議会代表者連絡会議結果の伝達
令和6年2月8日、佐賀県警察本部において開催された警察署協議会代表者連絡会議の結果を警務課長が伝達した。

(2) 業務概況の説明

ア 警務課長：警察相談、広報（職業体験）、庁舎警戒、新任配属

イ 生活安全・刑事課長：刑法犯認知・検挙状況、ニセ電話詐欺被害の現状、犯罪抑止活動

ウ 地域課長：110番の受理状況、110番に関する広報

エ 交通課長：人身交通事故発生状況、交通取締り、交通事故抑止対策

(3) 質疑応答・要望等

委員： 交通事故発生の多い交差点、交通違反の多い交差点の地図が資料の中にあるが、この地図は配布されているか。

警察： この地図は、交通事故、違反の分析用であるため、配布はされていない。

委員： 詐欺に関してのことだが、不審電話の情報提供があった場合は、その電話番号に直に電話をかけているか。直に電話をすれば、詐欺被害防止に役立つのではないか。

警察： 場合によっては、情報提供のあった電話番号にかけることもあるが、犯行グループの情報でもあるので、捜査に支障が出る場合もあることから、必ずしも電話をかけるとはいえない。

委員： 単純に考えて、電話をかけることによって、抑止になるかと思った。捜査の関係もあることは考えていなかった。

委員： 通学時間帯の小学校近くの交差点での無謀運転については、すぐ対応して頂いたと地区の方から聞いている。

他に通学、通勤時に右折できない交差点が数カ所ある。このような交差点に右折矢印の表示を入れることが出来ないか。

警察： 右折矢印の表示をその交差点に導入することによって交通の流量が変化し、別の交差点で渋滞が発生する恐れがある。

現在の状況としては、交通量調査に基づいて信号機の表示時間を設定しており、随時、調査し変更も行っている。

委員： 時間帯、特に朝だけでも、どうにかならないか、良い方法を検討してもらいたい。

委員： 日中、不在となっている駐在所が多いような気がする。

警察： 勤務の都合上、駐在所員が本署で勤務していることもあるので不在の場合も出てくる。不在の場合は、パト勤務員が補って警らをしている。

委員： 身近な駐在所に何かあったら言いに行きたいというのがあるので、常時、顔の見える関係が助かる。

警察： 了解した。私たちも見せる警戒を心掛けたいと思う。

委員： 先日、警察のテロ警備訓練を見させていただいたが、緊迫感が

遭って、身近に感じる事が出来た。
国民スポーツ大会会場である武雄競輪場の職員にも危機感を共有するため、警備訓練を見学する機会を作って欲しい。

6 その他

次回開催は定期異動後、日程調整を行う予定

7 閉会

8 視察

協議会終了後、警護訓練要領を視察